

立命館大学建設会

発行所
立命館大学建設会事務局
〒525-8577
滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学理工学部
都市システム系事務室内
令和5年8月

10.1007/s00339-017-0383-2

- 27 -

第3(号)

• 110 •

会長挨拶

建設会会長

10



アフターコロナに向けた学系の動き

立命館大学建設会の会員の皆様には、ますますご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。五月八日の新型コロナ感染症の五類移行を受けて、一気にとは言えませんが、国内移動やインバウンド観光の復活、大阪の天神祭も四年ぶりに「船渡御」と「奉納花火」を行うと発表しました。各支部におかれましては、この会誌の発行の頃までにも、待ち望んだ対面による総会が開催されていると思います。

さて、現役の皆さん方が目指される就職先としては一部ではありますが、六月八日に令和五年度の国家公務員採用総合職試験（春）の合格者発表がありました。新聞等では、「もつとも多く合格者を出した大学は東京大学で一九三人と、この十年で半分以下となり初めて二〇〇人を割りこむ。女性の合格者数は六八三人、三三・七%といずれも過去最高となつた。」と書いています。何よりもわが立命館

私たち建設業界を取り巻く情況は、引き続き財政的に厳しい状況であることは変わらないものの、平成三十年度から始まつた「防災・減災・国土強靭化のための三か年緊急対策」に引き続き、「同五か年加速化対策」が進行しており、既に令和二年度から四年度の補正予算で七割近く進捗しています。この対策が無くなると強靭化が進まなくなるのでないかとの懸念がありました。議員立法で提出された

「基本計画の位置づけはありました
が、法律に「国土強靭化実施中期
計画の策定」を位置づけたことで
す。中期計画では、① 計画期間
② 計画期間内に実施すべき施策
の内容・目標、③ 施策の進捗状況
財政状況等を踏まえ、②のうちそ
の推進が特に必要となる施策の内
容・事業規模を決めることになり
ます。国土強靭化、防災・減災の
取組みは、国家のリスクマネジメ
ントであり、強くてしなやかな国

は、「当時サテリーマンの平均月収が約五万円で入場料が大人八〇〇円だそうですから、高いのか安いのか。当時、私は田舎の高校一年生で、クラスの誰かが『英会話していくねん!』と言っていた時代と違い、いつでも外国の方が街におられ、スマホで会話できる現在は、大きく変わりました。皆さん是非、空飛ぶ車の『未来社会』を見に行きましょう。

二〇二三年度の学系長を務めております建築都市デザイン学科の吉富です。建設会の皆様におかれましては、日頃より都市システム学系における教育活動へのご協力や同窓会の取り組みへのご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。今年の五月に新型コロナウィルス感染症が、五類感染症に移行になつたことを受け、大学キャンパスにおいても確実にかつ急速にアフターコロナに向けての動きが出てきました。講義は対面実施が基本となり、中止されていた対面での期末定期試験も再開されるこ

となりました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中すつかり当たり前になつたマスク着用も任意になり、体感では半数以上の学生がマスクなしで過ごしています。研究室の入退室管理もなくなり、新型コロナウイルスの感染に関する話題もほとんど挙がることがなく、学生たちはコロナ前の日常を取り戻しているように感じます。コロナ禍以前には通常の行事だった都市システム学系の卒業記念パーティも対面実施の方向で検討が進んでいますが、運営側の大学院生で構成される学生

都市システム学系
学系長

吉富 學系長 信大



部会メンバー全員が大勢が集まる対面懇親会を未経験という状況で、失われた懇親や交流の場の復活や維持の重要性を感じています。この三年間を通じて対面とリモートそれぞれに長所と短所があることがはつきりしたので、全てをコロナ禍前に戻すのではなく、両者の良いところは残しつつ前向きに変化していく方向性を模索しているところです。

も改めて見直しか迫られるのは確実です。折しも建設業界においても、人材不足と労働環境の改善等の山積する問題解決が喫緊の課題であり、デジタル化やリモート技術、A.I.技術などをうまく使いこなして生産性や成果の質の向上を実現することが求められています。今後の学生たちには、こうした技術を使いこなして社会や人々の暮らしを豊かにする人材として、

系の教員体制にも動きがありまし
た。二〇二三年三月に北本英里子
先生、二〇二三年四月には四井
早紀先生が学系を離れられまし
た。その一方で、本年度は新たに
伊藤真一先生、沈尚先生がご着任
になりました。二〇二二年度末と
二〇二三年度当初にコロナ禍前か
ら実に三年ぶりに対面で学系の懇
親会が開催され、ご退職の先生方
の土下や新たに学系に加わった先

コロナ禍の収束と時を同じくして、社会を変革するほどの新たな技術革命として ChatGPT が代表される生成系 AI の話題がメディアを席巻するようになりました。今年の初めには名前も聞いたことのなかつたツールが、たった半年もたたないうちに驚くべき早さで浸透し、すでに学生たちは日常的に使用しているようです。これが当たり前の技術になるのは時間の問題で、大学における教育や入試の在り方、人材育成について

の暮れに聖カジミール大神とし
ますます自分で考える力や人間力
の育成が重要となつていくのでは
ないかと思います。

学系の学生の大学院進学者数は
概ね昨年度と同程度と比較的の高く
維持できていますが、日本の大学
全体の問題でもある博士課程後期
課程における日本人学生の減少は
大きな問題となっています。立命
館大学出身の若手研究者の育成、
輩出に向けて教員一同努めてまい
りたいと思います。

年度が改まるのに合わせて、学

生方の歓迎の場を設けることがで
きました。久しうりに学系の先生
方や学系事務室、建設会事務局の
方々が集い、笑顔で歓談する様子
を見た時に、こうした日常の価値
の重さ、交流の大切さを痛感し胸
に来るものがありました。

今年度は、建設会総会で皆様と
も顔を合わせての交流の場に参加
できますことを心より嬉しく思つ
ております。今後とも引き続きま
して学系の活動にご支援賜ります
ようお願いを申し上げます。

大学が七八十八人と躍進、第五位となっています。母校立命の優秀な方々が、いわゆる「キャリア官僚」となつて行かれる事が大変うれしい限りです。どの省庁に行かれる

「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法の一部を改正する法律案」¹¹⁾「国土強靭化基本法の一部を改正する法律案」¹²⁾が五

をつくること、日本の産業競争力の強化であり、安全・安心な生活づくりです。引き続き、会員の皆様も色々な場面で、元気に活躍されんことを祈念いたします。

か年加速化対策を延長する枠組みを定めるための改正として、今国会で、六月十四日に参議院で採決可決しました。これは、これまで基本計画の位置づけはありましたが、法律に「国土強靭化実施中期計画の策定」を位置づけたことです。中期計画では、① 計画期間の内容・目標、③ 施策の進捗状況・財政状況等を踏まえ、②のうちその推進が特に必要となる施策の内容・事業規模を決めることになります。国土強靭化、防災・減災の取組みは、国家のリスクマネジメントであり、強くてしなやかな国

二〇二五年の大坂・関西万博開催まで二年を切っています。入場券が七五〇〇円前後だとか（六月現在）、一九七〇年の前の万博では、当時サラリーマンの平均月収が約五万円で入場料が大人八〇〇円だそうですから、高いのか安いのか。当時、私は田舎の高校一年生で、クラスの誰かが「英会話にいくねん！」と言っていた時代と違い、いつでも外国の方が街におられ、スマホで会話できる現在は、大きく変わりました。皆さん是非、空飛ぶ車の「未来社会」を見に行きましょう。

柿沼先生への感謝と思い出



奈良建設会
宮川繁雄
昭和四十六年卒

会員の声

私は、昭和四十六年卒業で奈良建設会顧問の宮川でございます。卒業後、昭和六十年六月に第一回同窓会が発足し、名称を「立命館大学四二会」といたしました。昭和四十二年に入学した同窓会であり、卒業年が違うので入学時の年を名称といたしました。それ以来、毎年同窓会が開催され、今年六月には第三十八回四二会を行ることができました。その中心に居られた方が柿沼先生でございます。柿沼先生は、水理工学の教授であり、非常に人付き合いが良く、ユニークな先生であります。入学して翌年からは、学生運動が全国的に広がり、充分な授業ができず二回生及び三回生で一部試験が無くなりレポートになつた記憶が有ります。

その後、学生運動も治まり、卒業研究で水理工学を選択し、柿沼先生より色々とご指導をしていた江頭君も同じ卒業研究のグループでした。その当時は、マージャンをする学生が非常に多く、勉学とマージャンの共生の時代でした。その後、先生は立命館大学を退官され、愛媛大学の教授に着任さ



インフラと身体の
メンテナンス
京都建設会会長
小出美次
昭和五十六年卒

四二会の同窓会には、毎年愛媛県より飛行機で来られ、昼間は有志でマージャンを囲み、夕方五時より同窓会とその後の二次会に出席され、毎回楽しく一日を過ごしておられました。平成九年に長崎総合科学大学理事・教授に着任され、四二会の同窓会には長崎県より出席されておられました。その後、平成十九年に愛媛大学名誉教授に着任され、平成二十七年に愛媛県より鹿児島県に移住されましたが、四二会には毎年出席いただきました。

立命四二会の節目の事業としての思い出は、平成十八年六月（第二十三回四二会）に「卒業三十五周年記念」として有馬温泉（二泊）へ行つたこと、また平成二十四年六月（第二十九回四二会）には、先生の「春の叙勲の御祝」を開催させていただいたことです。いつも明るく、我々と楽しく会話され話題の豊富な先生でした。

令和二年から令和四年までの三年間は、新型コロナウイルスの影響で四二会を開催することができませんでした。令和四年十月に家族の方から葉書をいただき、先生が八月にお亡くなりになられたことを知りました。令和元年六月の第三十六回四二会でお会いしたことが最後となりました。四年間は、新型コロナウイルスの影響で四二会を開催することができませんでした。令和元年十月に家族の方から葉書をいただき、先生が八月にお亡くなりになられたことを知りました。令和四年十月の第三十六回四二会でお会いしたことが最後となりました。

五十年という年月を自身に重ねて四二会の私達を常に優しく見守り、人生の歩みを教えていただき、また明るい笑顔をいつまでも忘れることはできません。四二会に毎年出席され、卒業後も三十六年

の長き年月において「教え」をいたいたことに、同窓会全員が心より感謝を申し上げます。有難うございました。

一九八四年卒業北海道支部の浅利と申します。学生時代は、立命館大学メンネルコールという男声合唱団に所属し、歌うことにエネルギーを注いでいました。恥ずかしながら、学生時代に土木工学を一生懸命に勉強したという記憶があります。現在、O.B.が立命館大学メンネルコールO.B.合唱団として精力的に活動しています。私は参加できませんでしたが、二〇一六年には京都市、エコプロハ市の姉妹都市二十周年を記念として、チエコ日友好協会の要請によりプラハでの演奏会を実施しました。また、日本伝統文化振興財団により合唱曲CDを制作しビクターリーより販売しました。

コロナ禍の三年間に最も影響を受けたものの一つに、ライブコンサートやスタジアムでのスポーツ観戦ではあります。現在は、スマートフォン等により容易に音楽や映像が手に入る時代ですが、

私は何も言いませんが、素振りは見せてくれます。五年に一回という点検ではありますが、その時に思

いやりを持って見てやり、しつかりとメンテナンスすれば、まだまだ現役で役目を果たしてくれると思います。人生百年時代に突入、インフラもまた然りです。

その後、学生運動も治まり、卒業研究で水理工学を選択し、柿沼先生より色々とご指導をしていた江頭君も同じ卒業研究のグループでした。

その当時は、マージャンをする学生が非常に多く、勉学とマージャンの共生の時代でした。

その後、先生は立命館大学を退官され、愛媛大学の教授に着任さ

れました。よろしくお願いします。

私は昭和五十六年に理工学部土木工学科を卒業し、同年京都府庁に就職しました。三十八年間京都府庁に勤務し、退職後は京都府道路公社で山陰近畿自動車道という高速道路の建設、管理運営の仕事をしています。

卒業研究は小林紘士先生にお世話になりました。よろしくお願いします。

私は昭和五十六年に理工学部土木工学科を卒業し、同年京都府庁に就職しました。三十八年間京都府庁に勤務し、退職後は京都府道路公社で山陰近畿自動車道という高速道路の建設

ました。この間に、立命館大学の
先生方に大変お世話になりました。
学生時代には深川良一教授が
委員長を務める地盤工学会関西支
部の委員会に参加させていただき、
深川先生を始め、小林先生、藤本
将光准教授から多くのことを学ば
せていただきました。また、野村
泰稔教授にもデータサイエンス関
係の委員会でお世話になり、解析
手法について教えていただきました
。鹿児島大学に赴任した後も深
川先生と酒匂先生の関係で、立命
館大学主催のベトナムで行われた
国際共同セミナーに参加させてい
ただきました。このように立命館大
学の先生方には以前からお世話
になつておりましたので、この度、
立命館大学に就任することができ
て、大変嬉しく思っています。

着任の挨拶



環境都市工学科
講師

申しました。沈尚（シン・ショウ）と申します。微生物（細菌やウイルス）を専門とし、現場調査・ラボ実験・遺伝子解析を用いながら水圈炭素循環における微生物の動態について研究をしています。最近では、世界的な課題となっている薬剤耐性遺伝子問題についても取り組んでおり、琵琶湖や流域内での薬剤耐性遺伝子の分布を明らかにしようとしています。

二〇一五年に京都大学工学部地球工学科を卒業後、同大学大学院の修士・博士課程に進学し、二〇二〇年に博士（工学）を取得

近年は ChatGPT に代表されるような A.I の発展がすさまじく、私も少しづつ ChatGPT を教育や研究活動に取り入れ、その便利さに衝撃を受けています（この文章はちゃんと私が書いています）。同時に、学生の皆さんにはこれらを上手に活用できるような人材になつてもらいたいと強く意識するようになりました。今後、学生達が思考力や創造力を養えるように、そしてそれらの力を社会で存分に發揮できるように、教職員を始め、立命館大学に関わってくださる皆さんと連携しながら、学生達が未来へ羽ばたく手助けをして参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学部四回生で研究室は附属されてから、流域圈総合環境質研究センター、国立環境研究所琵琶湖分室とずっと琵琶湖の側で研究を続けることができました。そしてこの四月より、びわこくさつきヤンパスにて現職に着任することができ、引き続き琵琶湖について研究できるととても幸せに思います。日本を代表する湖の琵琶湖で、湖沼研究で世界を牽引できるよう精進したいと思います。採用に関わられた先生方に心から感謝いたします。

（現・名誉教授）。研究室は大津市環境の流域圏総合環境質研究センター（大津プリンスホテルや大津市水再生センターのすぐ近く）の隣にあり、在籍中はもっぱら琵琶湖調査に出かけっていました。滋賀県琵琶湖環境科学研究所センターや、京都大学生態学研究センターの琵琶湖調査船にも同乗させていただき、ウイルスや細菌（病原性ではない！）の顕微鏡観察や遺伝子解析を行っていました。

博士取得後は、同研究室や国立環境研究所琵琶湖分室でポスドクや日本学術振興会特別研究員PD（受入研究員・霜鳥孝一氏）として、引き続き琵琶湖の研究を続けてきました。研究を進めて行く過程で、世界的な課題となつてゐる薬剤耐性菌問題についても技術展用できることが分かれ、ポスドク時代は研究対象を琵琶湖流入河川や病原性のウイルス・細菌にも広げました。しかし環境中での拡散状況などについてはまだまだ未解明であります。

立命館大学技術士会の活動内容の紹介とお願い

立命館大学技術士会は、平成 21(2009) 年 12 月に立命館大学出身者で技術士資格を保有する校友により設立され、その活動は 14 年目を迎え、現在の会員数は約 170 名となっています。

【活動内容の紹介】

①立命館大学理工学部卒業生への技術士受験指導を実施。結果、建設部門、上下水道部門、機械部門、総合技術監理部門に、延べ44名の技術士を輩出。

また、技術士資格挑戦者への支援として、毎年3月より受験ガイド

スおよび受験講習会を4回実施。さらに、11月以降で口頭模擬試験を数回実施。

②本学の教育活動に協力し、学園の発展に貢献。

環境都市工学科の授業担当講師として、技術士制度および技術士資格

環境都市工学科の授業担当講師として、技術工制度および技術工資格を取得するための過程について講義し、将来受験する技術士第二次試験について、実際に例題を取り上げて解説。また、環境都市工学科の授業を活用し、1回生には『めざせ！技術士』、同3回生には『立命技術士懇談会』と題してJABEE制度や技術士の職務と役割について講義し、学生達に受験意欲の向上を図ると共に、卒業後の技術者としての社会活動のあり方や実社会での経験談を披露

③地域及び社会活動への技術的支援や未来の技術者への助言を発信。
その一環として令和4年1月に「土木技術者が語る未来」～今、伝えて

おきたい技術者の心～と題して電子書籍を発刊。立命館大学卒業生の土木技術者達の力作です。

【技術士会からのお願い】

★当技術士会の活動にご協力いただくためにも技術士資格取得者の方々には、当会に技術士資格の保有情報を下記事務局までお知らせください。

令和5(2023)年6月 立命館大学技術士会幹事会
事務局連絡先：企画・窓口担当E-Mail：rits.kikaku.mado@gmail.com
立命館大学技術士会ホームページ：<https://alumni.ritsumei.ac.jp/giutsusikai/>

事務局より

お知らせ

■会員登録データ

建設会会員名簿のもとになるデータベースは、皆様からのお申し出に応じて適宜更新しております。このデータベースは、年会報の送付、総会などの各種案内、また、各支部からの連絡、会費請求の事務などに利用しております。

今回送付いたしました年会報に同封されている「会員登録データ」をご確認いただき、修正や変更等がございましたら8月末までに建設会事務局までご連絡下さい。

また、今年12月初旬に「2023 会員名簿 [CD-R版]」を発行予定です。名簿は、会費を納入いただいている会員を対象に送付させていただきます（原則2年に1度の発行ですので「2022年度・2023年度分」のように連続して2年分以上の会費納入の会員、ならびに終身会員に送付させていた

▶名簿お取扱いについて

名簿は、会員の皆様の大切な個人情報を掲載しております。名簿をお持ちの会員様は、その保管およびお取扱いには十分ご注意いただくようお願い致します（転売厳禁）。

なお、ご不要になった名簿につきましては、お手数ですが焼却あるいはシュレッダー処分をしていただけますようお願い致します。

建設会事務局

〒525-8577滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学理工学部都市システム系事務室(担当:山元)
TEL:077-561-4911 FAX:077-561-2667

https://ritsumei-kensetsukai.net/
E-mail : kenstka@st.ritsumei.ac.jp
会費払込郵便振替口座 : 02 大阪 01080-1-884

※なお、8月11日～20日まで、大学一斉休暇となります。何とぞご了承下さい。